

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		フィルムコミッション推進事業						予算事業名		フィルムコミッション推進事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				07	01	05	1102	経常経費						
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業				
		3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興（観								重点事業				
		③フィルムコミッションの推進						担当課係等		商工観光課				
1フィルムコミッション推進						観光係								
事業期間		継続 (平成18年度～ 年度)												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
映像作品の㌠地として本市が採用されることにより、撮影地に発生する一時的な経済効果を生み出すとともに、市の知名度向上を含めた観光資源として活用することによる二次的な経済効果、さらには市民の郷土愛の向上に寄与する。							H10年前後より各地でFC事業が取り組まれ始まり県内では常総市が早期に開始。本市でもH14年に同事業を開始している。H28年4月現在の「いばらきFC等協議会」には30市町村が加盟。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
映像制作事業者からの依頼内容を把握し、適切な㌠地の紹介を迅速に行う。 また、作品内容が本市の利益（イメージアップや経済効果など）につながるか否かを勘案し、誘致の是非を判断する。 また、同事業者及び㌠地との事前調整、撮影時における調整を適切に行うことにより、安全かつスムーズな撮影を支援する。							一般市民及び映像制作会社							
							【事業をとりまく環境の変化】 昨今ではFC事業に取り組む市町村が増加しており、誘致が困難になって来ている。特に本市は山・海・川などの自然が少ないことから建物と取材的要素の強い番組（結城紬関連）の実績に偏りがちとなっている。							
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】						
映像制作事業者からの問い合わせに対して初動時間を短縮し、㌠地誘致を実施する。				映像制作事業者からの問い合わせに対して初動時間を短縮し、㌠地誘致を実施する。				映像制作事業者からの問い合わせに対して初動時間を短縮し、㌠地誘致を実施する。						
■事業費														
				H30年度		R01年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	19	20							
歳 入 計 (千 円)				19		20								
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千円)		金額 (千円)								
	11 需用費			19		20								
歳 出 計 (千 円) (A)				19		20								
伸 び 率 (%)						5.26								
備 考	総合計画107ページ 予算書132ページ													

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	活動件数	件	目標	30.00	30.00	30.00
	㊦地照会に対し、㊦地推薦など事務手続きを実施した件数(撮影地該当無しなどの回答のみの案件は除く)		実績	26.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	誘致件数	件	目標	12.00	12.00	12.00
	㊦地を推薦し、実際に撮影が行われた件数（㊦地が既に決定していた案件のうち撮影協力をを行った案件を含む）		実績	7.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	テレビに取り上げられる宣伝効果は高く、低予算で経済効果を生み出せる可能性が高い事業であるため。
妥当性	実施主体の妥当性	C 見直す必要がある	F C事業が定着してきたため、今後は他市を参考にして活動を希望する市民団体や観光協会、(株)TMO結城などへの移管を進めたい。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	祭事や日常業務があるため、人的に対応できないこともある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	現況の支援が可能な際に支援するという形であれば効率が良いといえるだろう。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	一次的な経済効果は別に観光誘客に伴う二次的な経済効果や知名度向上などを鑑みた場合、公平である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	年間を通じて確実に対応できる体制が確保できれば成果向上が期待できる。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	概ね順調に進んでいるものの、すべての照会内容に合致したロケ地が必ずしも推薦できるものでもなく、100%人的に対応できる体制でない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
低予算で結城市の知名度向上と一時的経済効果を同時に期待できる本事業の有効性は高い。また、撮影地の観光資源化による二次的経済効果も図れることから、発展性のある事業と考える。 しかしながら、現在の手段では夏から秋の繁忙期（イベントシーズン）の人的対応が難しいため、年間を通じて確実に対応ができない。また、撮影の内容によっては実施件数に応じて必ずしも本市の知名度向上が図れるものではないため、二次的経済効果に繋がらない場合もある。（特に民間施設の室内での撮影によるもの）			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
繁忙期は人的対応が難しく、撮影帯同ができない場合があるため、課だけでなく「シティプロモーション事業」の一環として全庁的に取り組めるような仕組み作りに発展させ、ロケーションコーディネーターや広告代理店などに対して、ロケ地を売り込んでいく必要がある。 また、今後は活動を希望する市民団体や観光協会、(株)TMO結城などへの移管について検討していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 費用対効果を考えると、事業の見直しが必要と考える。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。